

### 垣根を超えた大交流 —会員大交流会を開催—

2月16日、加古川プラザホテルにて、高砂商工会議所、稲美町商工会、播磨町商工会、当所の会員企業が一堂に会した「会員大交流会」が開催されました。



グループ内で自己紹介

謡曲「高砂」の合唱、主催者紹介、高砂商工会議所の福島会頭による挨拶に続き、14、15名でテーブルを囲んで1分間自己紹介・PRタイムが行われました。事業所の業種や所在地、参加者の年代や性別もすべてランダムでグループ内で、それぞれがめいっぴいに時間を使い事業所のアピールを行いました。



90秒間のステージ上PR

って選ばれた15事業所が発表を行いました。長いようで短い90秒間、思わず聞き入ってしまうようなバイオリンの音色や、様々な事業に役立つ豆知識を含めた内容など、事業所の周知につながるPRに参加者は耳を傾けました。その後、会場内を自由に移動する名刺交換・情報交換会タイムへと移り、近くの方や気になる事業所の方と積極的に交流している姿が多く見受けられました。異業種の方との交流や、同業の方との情報交換の場として利用していただきました。今年度はコロナ禍以降最多となる142名の方に参加いただきました。令和8年度は秋ごろに開催を予定しております。詳細は開催前に当該でご案内いたしますので、どうぞ期待ください。皆様のご参加お待ちしております！



交流を広げる名刺交換



交流する大勢の参加者

### 今年の経済を考えよう —新春経済講演会を開催—

2月20日、日本銀行 神戸支店長の別所昌樹氏を講師に「2026年経済展望！」と題した講演会を開催しました。



講演される別所氏

まず日本銀行について、同銀行の目的や金融政策、神戸支店の主な業務等について説明されました。次に、2025年の振り返りを行い、米国や中国の経済状況、トランプ関税などについて説明があったのち、日本経済の企業状況、消費者物価などについて解説しました。特に兵庫県・東播経済について詳細に触れ、県内の生産年齢人口と就業者数の今後の予測や、外国人延べ宿泊数など、様々な視点からの考察を述べられました。最後に、2026年の展望として、主に物価について取り上げ、現況や今後の見通しについての説明があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

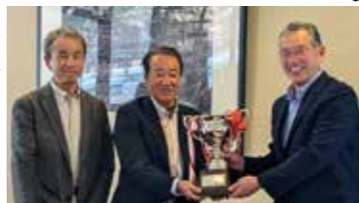
参加者は71名

### ダブルス競技は楽しさ倍増 —会員企業対抗ゴルフ大会を開催—

2月28日、第5回会員企業対抗ダブルスゴルフ大会を高砂商工会議所、稲美町商工会、播磨町商工会、加古川市ゴルフ協会との共催で、加古川ゴルフ倶楽部にて開催しました。

寒波厳しい時期の開催でしたが、会員企業23社から計56名の方が参加しました。

ダブルペリア方式で2名1チームの合計スコアを集計し、順位を決定、「多木化学(株)の大橋正さん、寺尾雅樹さん」チームが会頭杯を手に入れました。



優勝した寺尾さん(左)、大橋さん(中)と大辻副会頭(右)

参加者からは「市外の方々とも交流することができ、ゴルフを通じてつながりを広げることができた」といった声が聞かれました。会員相互の交流と親睦、またゴルフの振興、市内2つのゴルフ場の応援を目的とするこの大会、次回は8月ごろに開催を予定しております。ご案内を楽しみにお待ちしております。

### 団体だより

#### 女性会

### 地域の社会福祉に貢献 —靴下まつり収益金を寄付—

1月30日、「第29回女性会チャリティ靴下まつり」の収益金寄付のために、善積会長、中尾副会長とともに、加古川市社会福祉協議会を訪問しました。

毎年恒例の靴下まつりも当日来場者数1500名あまり、盛況に終わることができました。また、社会福祉協議会には毎回福祉団体の出展募集にもご協力いただいております。靴下まつり当日もご来場くださり、お買い物や喫茶コーナーを楽しんでいただきました。いつもご協力ありがとうございました。



バザーと喫茶の売上を寄付

女性会として、今後も加古川市の社会福祉に貢献できますよう、靴下まつりが魅力あるイベントであり続けるように工夫を重ねてまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

(副会長 落合 順子)

### 第2回!あがりにくい自分をつくる —2月度事業を実施—

2月17日、2月度事業として、「魅せる話し方スピーチセミナー実践編」を開催し、12月に引き続き講師に村角美紀子氏をお招きしました。

今回は、最初から一人ずつ前に出て1分間のスピーチをしました。立ち方やマイクの使い方、表情、話すスピード、聞き手に伝わる言葉選び等々、ひとりひとりに的確なアドバイスをいただきました。

全員が終了した後、グループに分かれて、お茶とお菓子をいただきました。ながらディスカッションをしました。「前に出て話す事がいかに難しいか!」「グループ内だと何でも話せるのに!」その場で2回目のスピーチが始まりました。すると、緊張もほぐれ、話せなかった事も伝えられるようになりました。

今後のスピーチの際、緊張感があがらない自分を実践できるように心掛けたいと思います。村角先生ありがとうございました。

(副会長 立花 早苗)

#### 青年部

### 絆をつないでいく —卒業例会を開催—

3月5日、加古川商工会議所青年部3月例会「感謝と絆を未来へ55」記憶に残る卒業式」を、ミル・アンジュにて開催いたしました。本例会は、長年青年部活動に尽力されてきた卒業生の皆さまへ感謝と敬意をお伝えするとともに、これまで築かれてきた絆を未来へとつないでいくことを目的に実施しました。卒業される先輩方だけでなく、現役メンバーにとっても記憶に残る一日となるよう、交流促進委員会が中心となり設えを行いました。



「加古川のうた」大熱唱

当日は二部構成で開催し、第一部のセレモニーでは厳かな雰囲気の中、卒業生の皆さまのこれまでの歩みと青年部への多大なご貢献に思いを馳せる時間となりました。会場には温かな拍手と感謝の気持ちがあふれ、改めて青年部のつながりの深さを感じるひとときとなりました。

第二部のパーティーは一転して華やかな雰囲気で開催しました。シャンパンタワーやケーキパイトなどの演出に加え、メンバーの協力による生演奏に合わせ「加古川のうた」を参加者全員で熱唱し、会場は大いに盛り上がりました。また、各テーブルにはチエキを設置し、当日の思い出を写真として残しながら交流を深めていただきました。撮影した写真はその場で記念ボードとしてまとめ、卒業生一人ひとりへ贈呈しました。



ご卒業おめでとうございます!

(交流促進委員長 大橋 裕子)